

○ 普及に移す技術

[タイトル] ダイズ茎疫病に対する生育期の有効薬剤

[要約]ダイズ茎疫病に対して、リドミル MZ 水和剤、フェスティバル C 水和剤、プロポーズ顆粒水和剤およびランマンフロアブル等の生育期茎葉散布剤の防除効果が高い。

[キーワード]ダイズ茎疫病、有効薬剤、茎葉散布剤、防除効果

[担当場所・課]農業技術センター・農業試験場・病理昆虫課

[連絡先]電話 076-429-5249

[背景・ねらい]

近年、ダイズでは茎疫病やリゾクトニア根腐病などの初期立枯性土壌病害の発生が顕在化しており、とくに茎疫病は主に播種後 1 か月までの時期に発生し、安定生産の大きな阻害要因となっている。茎疫病に対しては、登録剤であったサンドファン C 水和剤が 2003 年度に製造中止となり、その後は唯一銅粉剤が登録剤となったが、一層有効な薬剤の要望が高い。そこで本病に、より効果の高い茎葉散布剤を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. ほ場試験の結果から、フェスティバル C 水和剤、リドミル MZ 水和剤、プロポーズ顆粒水和剤、ランマンフロアブル、ライメイフロアブルの各剤は、サンドファン C 水和剤や Z ボルドー粉剤を上回る防除効果を示す（図 1）
2. ポット試験の結果から、フェスティバル C 水和剤、リドミル MZ 水和剤、ランマンフロアブル、ライメイフロアブルの各剤は、サンドファン C 水和剤や Z ボルドー粉剤と同等かそれ以上の防除効果を示す（図 2～3）。
3. 以上から本病の生育期における防除薬剤として、フェスティバル C 水和剤、リドミル MZ 水和剤、プロポーズ顆粒水和剤、ランマンフロアブル、ライメイフロアブルの各剤が有効である。

[成果の活用面・留意点]

1. 各地域の防除指針に活用できる。
2. 供試薬剤のうち、ダイズ茎疫病に対してフェスティバル C 水和剤とリドミル MZ 水和剤は既登録剤である。また、現在のところプロポーズ顆粒水和剤とランマンフロアブルの 2 剤は登録申請中で、ライメイフロアブルは未登録（ダイズべと病に登録申請中）であり、これらの薬剤は登録を待って使用する。
3. 本病は一旦発生すると病勢進展が早いことから、薬剤の予防的散布や初発を認めたら速やかに散布するように努める。

[具体的データ]

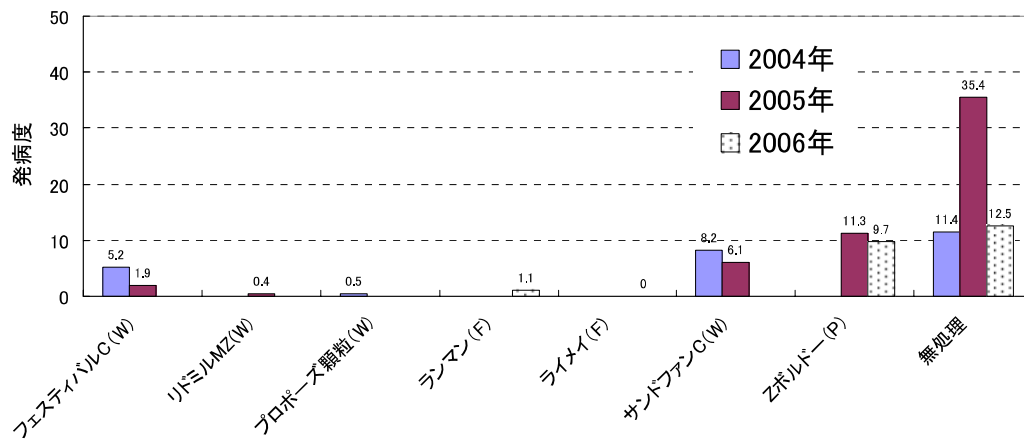


図1 ダイズ茎疫病に対するほ場試験での薬剤防除効果
(薬剤の空欄部の年次は試験未実施)

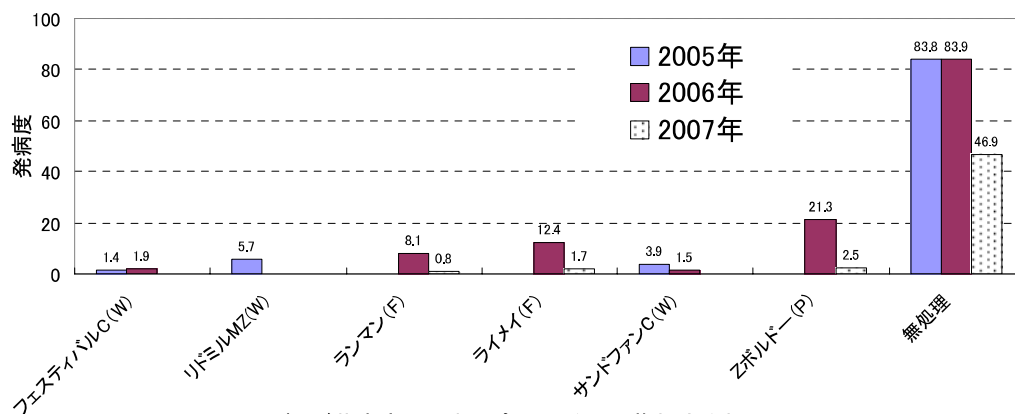


図2 ダイズ茎疫病に対するポット試験での薬剤防除効果
(薬剤の空欄部の年次は試験未実施)



図3 ダイズ茎疫病に対する薬剤の防除効果(2006年；ポット試験)
(薬剤散布5日目で接種4日目：a:フェスティバルC (w) , b:Zボルドー (p)、 c:薬剤無散布で接種)

[その他]

研究課題名：ダイズにおける立枯性病害の原因究明と防除対策試験¹⁾、疫病等ダイズにおける初期立枯性土壌病害の発生生態究明と防除対策²⁾

予算区分：県単¹⁾、受託（加工業務用2系）²⁾

研究期間：2007年度（2003～2005年度¹⁾、2006～2010年度²⁾）

研究担当者：向畠博行、三室元気、関原順子、坂田清華

発表論文等：向畠ら（2007）北陸病害虫研究会報第56号：58